

これまで、これからも
矢板にはずっとアイがある

Yaita 

特集 60 周年記念事業・やいた応援大使
～これまで、これからも
矢板にはずっとアイがある～

～これまでを振り返り、 これからの未来を描こう～

「矢板市制施行 60 周年記念事業」を行います

昭和 29 年 12 月 31 日、矢板町は旧野崎村大字沢成田および豊田を編入。昭和 30 年 1 月 1 日に矢板町、泉村および片岡村が合併。同年 4 月 1 日、旧片岡村大字松島を氏家町に分合した後、昭和 33 年 11 月 1 日に市制を施行し、現在の「矢板市」が誕生しました。

そして平成 30 年 11 月 1 日、本市は市制施行 60 周年を迎えます。

市制施行 60 周年という節目は、人に例えるなら干支が一巡し「生まれた年の暦に戻る」還暦です。

先人が築き上げてきた歴史や文化を伝えるとともに、未来へとつながる新たな出発となる今年は、多くのイベントが行われる予定になっています。市民の皆さんと一緒に祝いができるよう、式典やイベントなどの内容について、ご紹介します。

市制施行 60 周年記念事業のテーマについて

これまでも、これからも
矢板にはずっと **アイ** がある



このロゴは、市制施行 60 周年記念事業のテーマとして定められました。

矢板をローマ字表記すると「Yaita」。真ん中に「ai」が含まれています。この「ai」は、これまでも、これからも変わらない、矢板の原点を表しています。

また、「ai」は、ほかの文字と組み合わせることでさまざまな意味に変化することから、これから矢板市が変化していくことの意味合いも含まれています。

「愛 (ai)」、「未来 (Mirai)」、「古来 (Korai)」、「笑い (Warai)」、「出会い (Deai)」、「再会 (Saikai)」、「支え合い (Sasaeai)」など・・・

ハートマークは人の心を表したもので、重なりあったハートマークで心と心のつながりを表現しています。この言葉の捉え方については、平成 29 年度に実施した「やいた CM コンテスト 2017」の応募作品からヒントを得て、事業テーマのキャッチコピーとしました。

「市制施行 60 周年記念事業」を一緒に盛り上げてくれる皆さんを募集中です！

市民や各種団体、企業などの皆さんが実施する催しや大会などに「矢板市制施行 60 周年記念事業」の冠名をつけて、市制施行 60 周年を一緒に盛り上げていきましょう。

対象事業／

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの期間に、市内に活動拠点がある個人、団体、企業などが、市制施行 60 周年を記念して実施するイベント、大会などで、原則として市内で実施し、一般公開され、誰もが参加できる事業とします。

【冠事業の例】

・各地域で行っている行事 ・各団体や企業等で行っている行事
・〇〇〇〇大会 など

申請方法／

事業の開催 2 カ月前までに、【冠事業】承認申請書に必要な書類を添えて、直接または郵送で申請してください。申請後、その内容を審査し、承認の可否を申請者に通知します。詳しくは、秘書広報課までお問い合わせください。

支援内容／

・「矢板市制施行 60 周年記念」の冠やロゴが使用できます。
・市の広報紙、ホームページなどで周知・PR します。

※冠は、市制施行 60 周年に賛同される市民などが実施する事業、イベントに対して、矢板市制施行 60 周年記念事業実行委員会が承認を与えるもので、市の共催、金銭的支援を行うものではありません。

申請・問い合わせ／

秘書広報課 ☎ (43) 3764



楽しいことが盛りだくさん！
ぜひご参加ください

60 周年記念イベントをご紹介します！

市制施行 60 周年記念公演

劇団四季ファミリーミュージカル「魔法をすてたマジョリン」



全国で人気を博している「劇団四季」のミュージカルが市制施行 60 周年記念公演として、文化会館にやってきます。お子さまはもちろん、大人の方でも楽しんでいただける内容です。

劇団四季のミュージカルを鑑賞できるまたとない機会ですので、ぜひご堪能ください。

日時／6月23日(土)

16:30 開場 17:00 開演

場所／文化会館 大ホール

※駐車場に限りがありますので、来場の際はご注意ください。

入場料 (全席指定) /

S 席 一般 5,000 円 小学生以下 3,000 円

A 席 一般 4,000 円 小学生以下 2,000 円

※3歳未満は、ひざ上鑑賞無料 (座席が必要な場合は有料)

※お買い求めいただける席数は、ひとり5席までです。

入場券販売所／矢板公民館

入場券前売り開始日／5月21日(月) 9:00～

※月曜・祝祭日を除く、9:00～17:00 *初日のみ開館

問い合わせ／文化会館 ☎ (43) 2212

矢板公民館 ☎ (43) 0469



【ベビールームをご利用ください！】

文化会館大ホール
1階ロビーにベビールームを新たに設置。
小さなお子さま連れでも気軽に文化会館を利用できるようになりました。



【記念式典】

	式典名	式典内容	開催期日	会場
①	市制施行 60 周年記念式典	先人が築き上げた文化や歴史を伝えるとともに、未来へとつながる新たな出発点・市民と行政が力を合わせて新たな一歩を踏み出す記念として、式典 (条例表彰・特別表彰) およびアトラクションを開催	11月1日(木)	文化会館大ホール

【記念イベント】

	イベント名	イベント内容	開催期日	会場
済	桜いっぱい Project in 長峰公園	ボランティア団体や幼稚園児を招き、サクラの苗木やシバザクラを植える	4月11日(水)	長峰公園
②	NHK のど自慢	NHK のど自慢の公開放送	5月12日(土) 予選会 13日(日) 本選	文化会館大ホール
③	BC リーグ公式戦	栃木ゴールデンブレーブス VS 福島ホープス戦	8月18日(土)	運動公園野球場
④	30周年、50周年タイムカプセル開封	30周年、50周年に実施したタイムカプセルを開封し、公開可能なものは記念式典の際に展示。手紙などは、郵送等により配布	11月頃	—
⑤	10年後のあなたへのメッセージ	市内の未就学児～高校生を対象に10年後の自分や家族などにあてた手紙などをタイムカプセルに封入し、10年後に送付	募集開始 7月頃 封入 11月頃	—
⑥	子ども議会 (仮称)	市内の中学生を対象に模擬議会を開催する	未定	市役所議場ほか
⑦	カウントダウン写真	「市制 60 周年まであと〇日」のボードを持ち、市民やゆかりのある方の写真を撮影し、ホームページに掲載する	募集開始 6月頃 掲載開始 9月2日	—
⑧	記念撮影コーナーの設置	転入された方や婚姻届など、各種届を出された方を歓迎・祝福するための記念撮影コーナーを設置	未定	市役所内

※このほか市および各種団体が主催する大会やイベントに、冠を付けた事業の実施を予定しています。

～たくさんの人とつながりたい たくさんの人に届けたい～

新たに「やいた応援大使」が就任します



▲4月8日(日)東京・新木場で行われた「ギョウ腹フェス」において、電撃ネットワークの「ギョウゾウ」さんに「やいた応援大使」の委嘱状が手渡されました。

～より多くの方に「矢板の魅力」を届けるために～

「つつじの郷矢板 ふるさと大使」から、新たに「やいた応援大使」に生まれ変わります！

「つつじの郷矢板 ふるさと大使」

平成22年7月1日に制定し、矢板市出身の方、矢板市にゆかりのある方、13人に対して委嘱。「つつじの郷矢板 ふるさと大使」として、本市の魅力を幅広くPRしていただくとともに、市への有益な情報提供や助言などを通して、産業・歴史・文化・観光などの振興にご協力いただきました。

県外の大使の方などは、お知り合いに対して、旅先に矢板市を勧めていただいたり、特産物をPRしていただいたりと積極的に活動していただきました。

「やいた応援大使」

「やいた応援大使」は、今での口コミに加え、ソーシャルメディア（SNS、ブログ、動画系サイトなど）での発信・拡散に着目し、矢板市に関わりのある著名な方で、ソーシャルメディアによる発信力・拡散力のある方を大使として委嘱する新たな制度です。

ソーシャルメディアを活用した情報の発信は、市が行うだけでは限界があります。その情報を大使の方に拡散してもらうことで、今まで以上に市の魅力をより多くの方に届けることができます。

「情報拡散力 最大30倍！」

矢板市の公式 Twitter から情報を発信した場合に例えると…現在 Twitter のフォロワー数は1,726人です。(4/17現在)

今後、やいた応援大使が市の発信した Twitter の情報を、大使全員が SNS でフォロワーに情報を拡散すると、52,677人の方に矢板市の情報が広がります。その情報拡散の効果は、今までと比較し最大で約30倍となります！

矢板市公式 Twitter



矢板市公式 Twitter
フォロワー 1,726人



「やいた応援大使」SNS等
のフォロワー 52,677人



やいた応援大使がさらに SNS で拡散

やいた応援大使をご紹介します！

「やいた応援大使」は口コミや自らのソーシャルメディアで矢板市のことを発信・拡散し、市の知名度の向上やイメージアップを図っていただくことを目的としています。

新たに「やいた応援大使」として、「ふるさと大使」から引き続きご協力いただける方を含め、大使就任を打診し、快く引き受けていただいた、14人（予定を含む）の方をご紹介します。

氏名（敬称略）①住まい ②出身地 ③市との関わり
④職業 ⑤ひと言 ⑥ SNS 等フォロー数



タイロン 橋本
①東京都②扇町③本市出身④作
編曲家、歌手⑤1,364



伊東 富士郎
①千葉県②山田③本市出身④元
日本航空グランドサービス(株)
⑤同窓会やハイキング仲間が集
まる時など、他県へ居住している
方達へ故郷の事業をPRしています。



ギョウゾウ
①東京都②塩谷町③矢板東高等学
校卒、ふるさと祭りなどでイベント
出演④タレント(電撃ネットワーク)
⑤僕が青春時代を過ごした矢板の
元気を応援する任務を担うことに
誇りと責任を感じています。頑張っ
べ、顔晴っぺ矢板!⑥19,016



渡辺 けあき
①栃木県②東町③本市出身④プ
ロボウラー、声優⑤幼年期を過
ごした自然豊かな矢板市は、今
も心の故郷として、私の記憶に
深く残っています。そんな大好
きな矢板市を応援していきたい
と思います。⑥12,247



えりのあ
①栃木県②福島県③ともなぐ
んの歌を制作④シンガーソング
ライター、社会福祉士、介護福
祉士⑤矢板の魅力を、元気に発
信していきます。⑥1,653



白田 宗太郎
①神奈川県②東京都③世田谷
区ボーイスカウト役員として市
内で体験キャンプ等を実施④自
営⑤微力ですが何かとお手伝い
をいたします。⑥237



だいまじん じんのすけ
①東京都②大田原市③とちぎテ
レビ ゴルフ番組(矢板CC)④
芸人⑤とちぎテレビの「LOVE
GOLF」(毎週水曜日放送)を矢
板CCからお届け。矢板市を盛
り上げます。⑥4,205



相楽 亨
①扇町②壬生町③本市在住④日
本サッカー協会国際副審



設楽 享良
①上伊佐野②神奈川県③本市
在住④陶芸家⑤若いころにいた
た矢板の方々とのご縁。それが
きっかけでこの街の住人になっ
て16年が経ちました。これから
も私なりの関わり方でわが町矢
板を応援してまいります。⑥484



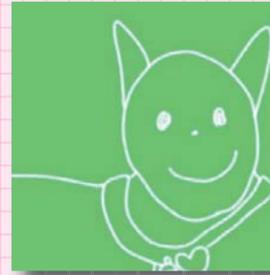
大島 勉
①東京都②幸岡③本市出身④
(社福)NHK厚生文化事業団常
務理事⑤ふるさととは良いもの
です。矢板のために何ができるか
考えながらやっています。



だいまじん だいじ
①神奈川県②大阪府③とちぎテ
レビ 自転車番組(Ride ON!ほか)
④芸人⑤これからも自転車、ア
ートや食を通して関わっていき
たいです。意気込みとしては「矢
板でいい汗かいて、うまいもの食
べたい!」です。⑥2,572



黒崎 拓克
①東京都②木幡③矢板市出身④
コニカミノルタ(株)、元実業
団選手(陸上)⑤矢板に帰ると
いつもホッとさせてくれる温か
い街だと思います。矢板の良さ
を多くの方に知ってもらえるよ
うに頑張ります。



モイライ
①市内②長井③本市在住④漫画
家、「メキシコでアミーゴ!」
作画担当⑤やいたの魅力を、私
自身楽しみながらお伝えした
いと思います。⑥10,899
※本人の希望により、イラストで
の掲載しております。



太田 博
①奈良県②大阪府③平成21年
7月から2年間、シャープ(株)
AVシステム事業本部総務部長
④大阪府被服団地協同組合専務
理事⑤さまざまな行事において
名産のりんごやお酒・お米など
を紹介PRしています。

～これからの未来のために～ 「矢板市公共施設再配置計画」が完成しました

平成30年3月16日に「矢板市公共施設再配置計画」を策定しました。これは、施設ごとに維持・更新、統合・複合、解体や譲渡による施設廃止など具体的な方針を定め、計画的な施設の再配置を行うことで、将来にわたり

財政的負担を軽減する目的で定めたものです。今号では、計画策定までの取り組みと計画概要、主な施設の計画方針をご紹介します。

公共施設再配置計画策定までの取り組み

「公共施設等総合管理計画」(平成29年3月策定)

公共施設の老朽化対策として、平成28年8月に計画の基礎資料となる「矢板市公共施設白書」を作成し、昨年3月に市内の公共施設(建物)133施設(平成27年3月31日現在)について、老朽化の現状や利用状況、維持管理にかかる今後40年間の費用などを試算し、施設の建て替えや維持・改修にかかる費用が、将来、矢板市を支える次の世代の皆さんの過度な負担とならないよう、また、市民の皆さんのニーズに合うように、今後、

公共施設をどのように管理していくのか、公共施設の現状と課題をまとめ、解決するため計画を策定しました。

【計画の基本方針】

- ①まちづくりと連動した公共施設管理
- ②施設保有量の最適化
- ③計画保全(予防保全)による長寿命化
- ④市民ニーズに対応した施設の活用
- ⑤民間活力を生かした取組

「公共施設再配置計画」基本方針

将来の人口規模と財政状況を考慮し、公共施設の延床面積を40%縮減することを目標として、最適な公共施設サービスと財政運営を両立させた再配置を行うため、計画策定を進めました。

●公共施設の安全・安心を確保

いつ、どの施設も市民の皆さんが安全に安心して利用できるよう、耐震化や老朽化対策を万全に行い、公共施設の性能・機能の確保に向けた取り組みを進めます。

●施設総量の最適化

過度な財政負担にならないよう、公共施設総量の最適化を図ります。原則として、新たな施設整備は行わず、既存施設の有効活用を第一に考えます。

●行政サービス水準の維持・向上

施設量を削減しても、効率的な行政サービス提供のあり方を検討し、行政サービスの水準は、現状維持、あるいは現状以上の水準に向上させていきます。

「公共施設再配置計画」の決定

計画策定の基本方針に基づき、学識経験者や市民の代表で構成する公共施設再配置計画策定委員会で計画案を約1年かけて協議したほか、シンポジウムや説明会を開催し市民の皆さんからの意見も踏まえ、3月16日の策定委員会で、計画が正式決定されました。



▲策定委員の皆さんから再配置計画書を受け取る市長



施設の維持管理などで、どれだけの財源が不足するの？

30年間で約 **362億円** 足りません!!

362億円の費用を縮減する必要があるから、計画的に施設の統廃合などを適切に行う必要があるんだね！
いろんな施設があるけど、具体的にどうするの？



「公共施設再配置計画」では、今後30年間で、取り組んでいくことをまとめました

公共施設の延床面積33%、施設の建替えや維持管理に掛かるコスト244億円を削減するとともに、事業運営費の見直しや、施設の長寿命化を図ることにより107億円、合計351億円のコストの削減に努めます。

また、今後発生する施設の建替えに対応するため、年間4,000万円程度の基金の積立を実施するとともに、民間活用についても検討していくことが決定しました。

【主な施設の具体的な方針】



●市役所などの庁舎

市役所の他施設との複合化を含めた建替えについて検討します。



●体育館などのスポーツ施設

矢板市体育館、武道館、弓道場、運動公園プールの複合化を検討します。



●市営住宅

荒井・上太田・乙畑の平屋の市営住宅、中・高倉市営住宅を廃止解体します。



●産業系施設

魚菜市场と勤労青少年ホームを廃止解体します。



●義務教育を提供するための小・中学校

川崎・西・豊田・泉・乙畑の各小学校、泉中学校に関しては、近隣の学校への統合、片岡中学校に関しては、学校施設以外の施設との複合化を検討します。



●公民館や図書館などの文化施設

矢板公民館は、文化会館や図書館、郷土資料館との複合、泉公民館は、泉保育所や泉げんきセンターとの複合、片岡公民館は、コミュニティホール等の施設との複合化を検討します。

その他の施設方針については、市ホームページ (<http://www.city.yaita.tochigi.jp/soshiki/soumu/>) をご確認ください。ただ、総務課および図書館、各公民館で「計画書」をご覧ください。

公共施設再配置計画を推進するために

今後、施設ごとに具体的な個別計画を立て、本計画を推進していきます。施設ごとの個別計画は、市民の皆さんへ十分な周知を図るとともに、皆さんからのご意見を踏まえて丁寧な計画づくりを行っていきます。

また、その土地や建物については、売却や貸付だけでなく、建て替えや改修などの機会に、当該施設を活用した民

間収益事業が成立する余地があるかどうか、民間の資金やノウハウを用いる「民間活力」の導入の可能性を検討するとともに、受益者負担の原則に基づいた利用料の設定を検討することで、維持修繕等に充てる収入を増やす取り組みも合わせて行っていきます。